

とう ち  
塔の越遺跡

所在地 稲沢市長野3丁目  
(北緯35度15分28秒 東経136度48分49秒)  
調査理由 都市再生推進事業3・3・14号稲沢西春線  
調査期間 平成22年4月～平成22年5月  
調査面積 80㎡  
担当者 石黒立人

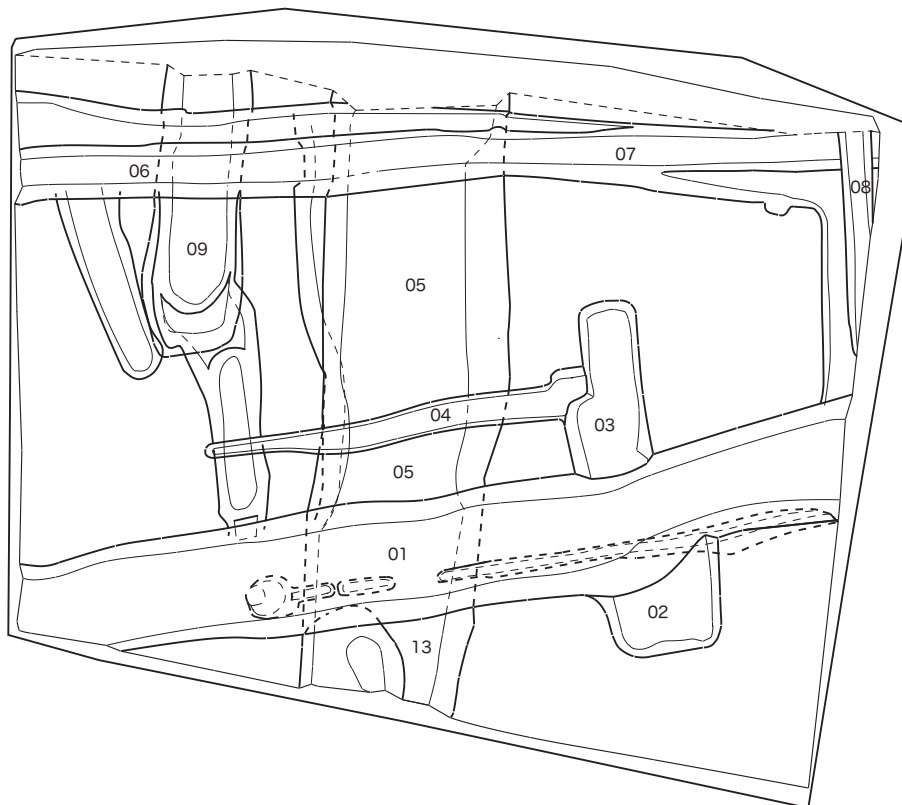


調査地点(1/2.5万「一宮」)

調査の経過 塔の越遺跡の発掘調査は、都市計画道路稲沢西春線の建設に伴う事前調査として、愛知県建設部都市整備課より愛知県教育委員会を通じた委託事業として実施した。

立地と環境 本遺跡は稲沢市の東部、三宅川左岸の自然堤防状に立地する。東には長野北浦遺跡が存在する。

調査の概要 本年度の調査区は平成19年度調査区の南東端に位置している。上面は中世から近世にかけての溝、下面では古墳時代前期の溝を検出した。いずれも前回調査の続きであり、土器等が出土した。  
(石黒立人)



塔の越遺跡10区プラン(1:100)